団長、副団長、ずい行者のみなさまのおかげです。本当に楽しかったです。

「沖縄での思い出」

下金山小学校
金　楓

みなさんは、沖縄に行ったことはありますか？

私は6月30日から7月4日まで沖縄に行ってきました。その中でも思い出に残ったことは三つあります。

一つ目は、美ら海水族館に行ったことです。

理由は大きなジンベエザメを見ることができたからです。美ら海水族館の主な展示を紹介します。

まず「タッチプールイノーの生き物たち」です。ここはヒトデやナマコなどがさわれます。次は「黒潮の海」です。ここでは、ジンベエザメ、マンタ、エイなど、北海道にはいない生き物がいました。次は「深海への旅、深海探検の部屋、深海の小さな生き物、深層の海」です。これらの水そうには、深海に住む生き物がいました。深層生物の中でも注目してもらいたいのは、ダイオウイカの標本です。すごく大きかったです。

この中でも一番のめだまは「黒潮の海」です。なぜなら、この水そうはジンベエザメが2匹いるからです。しかも水そう造りの技術が世界一だからです。そのガラスの厚さは60センチメートルでこの厚さなのに、きれいに見えてすごかったです。

その他にもイルカショーがもう一つのめだまです。ダンスをおどったり、ジャンプしたり水をかけたりしていてびっくりしました。また行きたいです。

二つ目に思い出に残ったことは沖縄戦争についてです。沖縄のひめゆり平和祈念館に行きました。そこで、ひめゆり学徒隊の方々の証言ビデオを見ました。学徒隊の一人の方の話によるとアメリカ軍がせめてくるのでちがう所にひなんするのに歩ける患者さんだけつれて行き、歩けない人を残していったり、けがをした学徒隊仲間を残すなどしていたそうです。友達を残していったりして本人も、悲しかったと思います。

他にも平和の礎にも行きました。礎に書かれた人は大勢いて、中でも、日本人は沖縄の方の次に北海道の方が多かったです。中国人やアメリカの人も書いてありました。北海道を含めて、いろんな人が亡くなっていて、かわいそうでした。

三つ目に思い出に残った事は、マリン体験で、バナナボートにのった事です。遠くへ進んで、少しこわかったけれど楽しかったです。止まった時には、海水がボートの足おきばに入ってきて、出発したら顔にものすごくかかりました。北海道の海よりも、塩がこく感じて、しょっぱかったです。泳いだ時は、水温が冷たくて、なかなか立つことができませんでした。でも足を底につけてみると、いがいと深くなかったので安心しました。でも沖にいくと深くてびっくりしました。ゆきさんにかみをひっぱられて、おぼれそうになりました。ナマコは色が黒に近い感じでした。はじめてナマコをさわりました。見た目はブニブニしてそうだけどヌルヌルしていました。少しきもち悪かったです。魚は青色ですばしっこかったです。でも、とてもきれいでした。海の色と生き物の数が北海道とぜんぜんちがうと思いました。一生の思い出になりました。

また沖縄に行って美ら海水族館などに行き、もっとゆっくり生き物を観察したいです。

本部小児童との交流

グリーンフラッシュビーチ

「南の国の真夏に挑む体験の旅」

南富良野小学校
黒川　泰雅（たいが）

僕は、この沖縄を通して色々なことが学べました。それは、自分が目標として持っていたジンベエザメのエサの食べ方やジンベエザメの大きさや戦争のことについてです。

最初に自分が目標として持っていたジンベエザメのエサの食べ方は分かりませんでした。でもジンベエザメの大きさは全長18ｍでした。

次に戦争があった沖縄のひめゆりの塔と平和祈念資料館に行き、そこには戦争の苦しみや亡くなってしまった人々達をまきぞいにし戦争は絶対にやってはいけないことだと思いました。

最後に僕が学んだことについての感想です。ジンベエザメのエサの食べ方は分かりませんでしたが大きさが分かり良かったと思います。戦争は普通の人々をまきぞいにし戦争は絶対にやってはいけないことだと思いました。そして今のような平和があると思いました。

そして僕は沖縄に行って楽しいことがいっぱいありました。それはマリン体験、美ら海水族館、国際通りでお買い物をしたこと。ホームステイです。

マリン体験では、バナナボートに乗りました。バナナボートはとても早くまがる所では落ちそうになりましたが落ちませんでした。とても楽しかったです。

美ら海水族館では北海道にいない魚がいっぱいいました。僕が一番印象に残っている所は黒潮の大水槽です。僕が一番行きたかった場所でそこにいるジンベエザメを見てとても大きくてとてもすごかったです。

国際通りでは、とても多くお店がありそこではシーサーやメモ帳やキーホルダーを買いました。そこに沖縄にしかないラジオ体操がながれていて初めて聞いたのですごいと思いました。とちゅうにあったアイスクリームを食べました。種類は、紅芋味とバニラ味と紅芋味とバニラ味があわさっているミックス味がありましたが僕はやっぱりバニラ味を食べました。とてもおいしかったです。

ホームステイでは、泰君の家に行きました。行ってすぐに海に行って砂遊びをしたりスイカわりをしました。家にもどったあとにバーベキューをしました。お肉はアグーというぶたのお肉でとてもおいしかったです。そして花火をしました。バーベキューが終わった後にトランプをしました。何をしたかというとババ抜きと七ならべとダイフゴウをしてとても楽しかったです。

ホームステイお別れ式

僕が沖縄に行ってみての感想は初めてで暑さになれなかったです。けど日にちがたつうちに暑さになれていきました。そして僕が沖縄に行って一番楽しかったことはホームステイです。それは、海でスイカわりをしたりバーベキューでおいしいお肉を食べたりトランプをしたりしたからです。そしてホームステイ先の泰君となかよくなれたのでうれしかったです。僕が沖縄に行ってとても楽しいことばかりでした。沖縄に行けたので本当に良かったです。ありがとうございました。

「沖縄で学んだこと、楽しかったこと」

南富良野小学校
佐藤　圭佑（けいすけ）

ぼくは、沖縄に行って学んだことは、戦争のことです。

ひめゆり学徒の人がごうの中でけがをした人を治療して、もしひどかったら、少し薬をぬるだけで、そのまま足を切ってしまうので、その人たちはつらかったと思いました。

そのごうの中に、アメリカ軍の爆弾が投げつけられて、人々の体がとびちって地面には死体だらけだったので生きていた人は、すごくつらかったと思いました。

戦争というのは、何もかも全部失って、つらいことばかりなので、ぜったいにやってはいけないものだと思いました。

もう一つあります。それは、アメリカ軍がいるかでな基地のことです。ここの中には、日本人で働いている人が約八千人います。

沖縄の人は、アメリカ軍の人は、もう沖縄にいるのはやめてと思っているけど、そこで働いている人は、もしこの基地がなくなると仕事がなくなるので、簡単にはなくすことができないと聞いてすごくびっくりしました。

戦闘機で訓練をしている時、何らかのトラブルで、家などにげきとつして、日本人がぎせいになったこともあるので、ぼくは、自分の国で訓練などをしてほしいと思いました。

ぼくが沖縄に行って楽しかったことは、たくさんあります。

一つ目は、ホームステイです。すぐ海に行きました。みんな島という所まで行って、シュノーケルをしました。海の中は、すごく青くて色々な魚たちが、いっぱいいました。初めてナマコにさわったり、ウミヘビを見たりもしました。そして、帰ってからお店に行って夕食を食べました。そこでも、初めてゴーヤチャンプルを食べました。にがいと思っていたけど、意外と甘くておいしかったです。家にいったら、まず門の上にシーサーがありました。入ってみると、おふろとトイレが二つずつあってびっくりしました。

二つ目は、沖縄国際通りです。きちんと、計画してやらないと、お金が無くなってしまうので気をつけました。ここでは、シーサーやキーホルダーを買いました。しっかりと時間も守りました。

修学旅行の経験をいかして、時間にもおくれることなく、みんな楽しくやっていたのでよかったと思います。

もとぶ元気村

サムズアンカーイン